

ふみびと

第293号
発行所
文通村事務局
編集 広報部
千葉県成田市

手紙で伝える 感謝の気持ち

つながり

「犬は三日飼えば三年恩を忘れぬ」ということわざがある。

先日知人がしていたそんな話。私を実家で飼っていた犬は、恥ずかしながらその生を全うするまで家族に噛み付く癖をやめさせることができなかった。それで、ついぞそんな恩を感じていたのかを知ることができなかった。ですが、家族が家に帰ると玄関まで申し訳程度のお迎えに来てくれていたの

で、一応帰りを喜んでく

れてはいたような気がします。ちなみに渋谷駅前の銅像にもなっている有名な忠犬八子公は、飼い主の上野英三郎が亡くなった後も十年に渡って渋谷駅まで迎えに行き続けていたそう、正に恩を忘れない犬の象徴なのかもしれません。その時知人が話していたのは、私たちは「恩を忘れない」ということをできているか、ということ。昔お世話になった人、



付き合いがあった人、もちろん今も変わらず付き合いがある人にも。そんな人たちに今でも感謝の気持ちを持ち続けることができているかと。

その時々には確かに感謝の気持ちを持つているのに、それを持ち続け、伝え続けるのは意外と難しいもの。今日の前のことに精一杯なのでそれも仕方のないこと。でも、たまにはそんな

時のことを思い出して、その思いを伝えることで繋がりが続いていたものです。

「たまには手紙を書いてみるのもいいよね」

人を大事にするその知人らしい「伝える」手段は、その向こう側で受け取る人にもしつかり伝わります。誰もがそのような気ができます。誰もがなかなかできるわけではないこと。それをしてくれただけに、きつと温かさを感じることもできるから。

朝起きて、やかんを火にかける。お湯が沸くのを待つ間、コーヒーの準備をする。カップを出し、ドリッパーにフィルターを置き、そこに粉を落とす。お湯の沸くフツフツという音が響くと、火を止めてゆっくりとコーヒーにお湯を注ぐ。あわてず、丁寧に。この瞬間がとても好きだ。粉が

落ち着く流れ

膨らむ様子は可愛らしくて微笑ましいし、深い香りを胸に吸い込むと心が明るく落ち着く。しばらくその感覚を楽しみ、粉がしずまるのを待つ、再びお湯を注ぐ。それを数回繰り返し、できたコーヒー

を一口飲んでほっと息をつく。丁寧に淹れたコーヒーはとても美味しい。でもそれ以上に味わっているのは、それをつくる工程だ。日々、いろいろなことがあつて、焦ったり落ち込んだりする時もあるけれど、わずかでもこんな時間を持つことができれば、大丈夫な気がするのだ。

風船便

風船便はいつでも誰でも参加できますが、その受取は新規の方へ優先されます。誰に届くかは風次第...。送り方は簡単。下の風船便切手名を切り取って手紙に貼り宛名に「風船便を受け取った方へ」と書いて、差出人名を書くだけです。あ返信筒にのりをつけて、事務局宛封下までご持参ください。なごの交流です。



重要なお知らせ

4月以降の発送日の変更

郵便局による土曜配達がなく、郵便事情の影響を受けているため、4月以降の発送日を変更いたします。第2月曜日と第4月曜日を発送日とし、事務局への手紙の締切日を**発送日の3日前の金曜日**とさせていただきます。具体的には4月11日(月)発送、8日(金)締切日となります。

3月末の発送

3月末発送は今まで通り31日です。発送日の2日前(29日)までに事務局に到着するようにポストに投函してください。